



加 美 町 オーガニックビレッジ宣言

大崎耕土
世界農業遺産



OSAKI
KOUDO

GLOBALLY IMPORTANT
AGRICULTURAL
HERITAGE SYSTEMS



加美町長 石山 敬貴

加美町は、加美富士と呼ばれる「薬菜山」がそびえ、船形連峰をはじめとする奥羽山脈を背に、清流「鳴瀬川」が貫流し、広大な扇状形に開けた水田地帯は、日本有数の穀倉地帯「大崎耕土」の一角をなしています。

「大崎耕土」は、農業を中心した食文化や伝統的な農文化を育み、巧みな水管理システムを構築し、多様な生物と共生する水田農業が継承されてきました。そのことが評価され、2017年に「持続可能な水田農業を支える『大崎耕土』の伝統的水管理システム」として「世界農業遺産」に認定されました。加えて、2025年には加美町の西部に位置する『荒沢湿原池沼群』が、生物多様性が保全されている区域として、「自然共生サイト」にも認定されました。

これらの先人が守り、築いた豊かな環境を、より一層、保全していくために、農業生産に由来する環境への負荷をできる限り低減した「環境保全型農業」の推進に取り組み、持続可能な農業の実現を目指します。

清流と雄大な自然に恵まれた「世界農業遺産・大崎耕土の奥座敷の地」として、自然との調和を図り、有機農業を推進することを誓い、ここに「オーガニックビレッジ」を宣言します。

令和7年4月21日

加美町長 石山 敬貴